

平成28年12月

太宰府市議会建設経済常任委員会会議録

平成28年12月9日

福岡県太宰府市議会

1 議 事 日 程

〔平成28年太宰府市議会 建設経済常任委員会〕

平成28年12月9日

午前 10 時 00 分

於 全員協議会室

日程第1 議案第104号 平成28年度太宰府市一般会計補正予算（第3号）について

2 出席委員は次のとおりである（5名）

委員長	上 疆	議員	副委員長	宮原伸一	議員
委員	橋本健	議員	委員	入江寿	議員
〃	堺剛	議員			

3 欠席委員は次のとおりである（1名）

委員 村山弘行 議員

4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名（7名）

建設経済部長	井浦真須己	上下水道部長	今村巧児
観光推進担当部長 兼観光経済課長	藤田彰	上下水道課長	古賀良平
都市計画課長	木村昌春	施設課長	谷崎一郎
建設課長	山口辰男		

5 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（3名）

議会事務局長	阿部宏亮	議事課長	花田善祐
書記	山浦百合子		

開会 午前10時00分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（上 疆委員） 皆さん、おはようございます。

定足数に達しておりますので、これより建設経済常任委員会を開会いたします。

日程につきましては、お手元に配付しているとおりです。

それでは、直ちに議案の審査に入ります。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1 議案第104号 平成28年度太宰府市一般会計補正予算（第3号）について

○委員長（上 疆委員） 日程第1、議案第104号「平成28年度太宰府市一般会計補正予算（第3号）について」の当委員会の所管分を議題といたします。

お諮りします。

審査の都合上、歳出から審査を行いたいと思います。また、補正の補足説明において、関連として同時に説明したほうがわかりやすい歳入の補正項目についてはあわせて説明をお願いしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（上 疆委員） 異議なしと認め、お諮りしたとおり決定いたしました。

それでは、歳出の審査に入ります。

補正予算書の22、23ページをお開きください。

6款1項5目農地費について説明をお願いします。

建設課長。

○建設課長（山口辰男） おはようございます。

では、6款農林水産業費、1項農業費、5目農地費についてご説明申し上げます。

内容としましては、270農業用施設整備費の13節委託料に工事設計監理等委託料として191万2,000円の増額補正でございます。

観世音寺地区にあります旧山の井池の斜樋の堤体に面した部分に洗掘が見られましたことから、本年9月議会におきまして、応急的に修繕対策を行うため、修繕料を補正をさせていただきました。

今回の補正は、池を干しております農閑期のこの時期に斜樋全体の状況を調査し、斜樋補修を行うための設計を行うものでございます。

説明は以上でございます。

よろしくご審議いただきますようお願いいたします。

○委員長（上 疆委員） ありがとうございます。

これについて質疑はありませんか。

堺委員。

○委員（堺 剛委員） 今回ご説明いただきました山の井池については理解いたしますが、ほか

結構市の中に池の関係するところがあるんですが、そういう危険性のある可能性があるところ
ってまだほかにあるんでしょうか。そのあたりを教えてください。

○委員長（上 疆委員） 建設課長。

○建設課長（山口辰男） 今回につきましては、旧山の井池の調査のほう補正を上げさせていただ
いておりますが、市内にため池が約60ほどございますけれども、その中で今後調査をしていく
必要がある池という部分が数池ございまして、これにつきましては、今後その都度、農閑期に
おいて池を干していただいている間に計画的に調査を行い、補修のほうを行ってまいりたいと
いうふうに考えております。また、県とか国が行いますいわゆる耐震調査であったりとか、そ
ういったものの通知等も来ておりますので、条件に合致するものにつきましては、そういった
事業なり、補助を活用しながら順次進めてまいりたいというふうに考えております。

以上でございます。

○委員長（上 疆委員） いいですか。

○委員（堺 剛委員） はい。

○委員長（上 疆委員） ほかにありませんか。

入江委員。

○委員（入江 寿委員） 堺委員に関連してその池のことですけれども、太宰府市に各軒々と池は
あると思うんですけれども、使われてない池というのはあるんですかね。例えば、使われて
ないままにしとくと危険度も増すと思うんですけれども、そのあたりをちょっとお伺いした
いかなど。

○委員長（上 疆委員） 建設課長。

○建設課長（山口辰男） 現在水利がない池等もございますけれども、この分につきましては、い
ろいろな水害対策等において、調整池を兼用した形で利用しているという部分もございま
すし、池によってはもう水利権者が数人しかいらっしやらないというようなため池もござ
いますので、今後いろいろな都市開発等で水利の関係者が減少になっていった場合につ
いては、今後そういった水害防止等の調整池と機能等も含めながら考えてまいりたいと
いうふうに思っております。

以上でございます。

○委員長（上 疆委員） いいですか。

○委員（入江 寿委員） はい。

○委員長（上 疆委員） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（上 疆委員） それでは、次に進みます。

同ページの6款2項2目林業管理費について説明をお願いします。

建設課長。

○建設課長（山口辰男） 6款農林水産業費、2項林業費、2目林業管理費についてご説明申し上

げます。

内容としましては、270林業用施設整備費、13節委託料に工事設計監理等委託料として200万円の増額補正でございます。

四王寺林道の第28カーブにつきまして、のり面崩落のおそれがありますことから、平成29年度に県の補助金を受けて改修を行うために事前の設計を行うものでございます。

説明は以上でございます。

よろしくご審議いただきますようお願いいたします。

○委員長（上 疆委員） これについて質疑はありませんか。

副委員長。

○副委員長（宮原伸一委員） 今回委託料ということで、調査でしょうけれども、今すぐに崩落ということはないんですかね。

○委員長（上 疆委員） 建設課長。

○建設課長（山口辰男） こちらの28カーブにつきましては、先日農林事務所のほうにも現地のほう立ち会いをいただきまして、早急に対応するという部分ではございませんが、早い時期にやったほうがいだろうという回答をいただきましたので、今回補正におきまして調査の設計をさせていただいて、次年度できれば県の補助を受けて施工を行いたいというふうに考えております。

以上でございます。

○委員長（上 疆委員） ほかにありませんか。

いいですか。

その関連でしたけれども、どの辺になるんですかね、場所がわからない。

○建設課長（山口辰男） 28カーブはほぼもう頂上に近いところの、下から第1カーブ、第2カーブという形になってまいりますので、第28カーブ過ぎて大体もうあと2つ、3つ曲がると頂上というぐらいの箇所になっております。

○委員長（上 疆委員） はい、わかりました。

ほかにございませんね。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（上 疆委員） それでは、次に進みます。

24ページ、25ページをお開きください。

7款1項1目商工総務費について説明をお願いします。

観光経済課長。

○観光推進担当部長兼観光経済課長（藤田 彰） 7款商工費、1項商工費、1目商工費、001職員給与費について説明させていただきます。

今回の職員給付費の補正につきましては、人事院勧告及び定期の人事異動等に伴う人件費の増額をお願いするものでございます。

人事院勧告に伴い、職員給与費に関しましては、勤勉手当を0.1月分引き上げるとともに、給料表の改定を行うものであります。

なお、各款項目の職員給与費につきましても、同様の理由による増額補正となっておりますので、この説明をもって建設経済常任委員会所管分の職員給与費補正の説明とさせていただきます、8款1項1目については説明を省略させていただきます。

以上でございます。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（上 疆委員） これについて質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（上 疆委員） 次に進みます。

同ページの7款1項2目商工振興費について説明をお願いします。

観光経済課長。

○観光推進担当部長兼観光経済課長（藤田 彰） 7款商工費、1項商工費、2目商工振興費、270商工振興費、19節負担金補助及び交付金、中小企業保証料補助金50万円の増額についてご説明を申し上げます。

本事業につきましては、太宰府市中小企業資金融資規定に基づき、福岡県信用保証協会の信用保証を利用し融資を受けた場合の保証料を返済完了後に事業者に補助するものでございます。

融資の活用条件につきましては、提携のある市内金融機関から新規融資、借りかえ、返済状況、融資額や返済額等の報告を毎月いただいているところでございます。また、この報告によりまして、保証料の補助額が算定できているところでございます。

当初、本年度中の貸し付け完済による補助を11件197万6,452円。繰り上げ完済による補助見込みといたしまして50万円余、計250万円を計上いたしておりましたが、資金運用や景気の動向の影響もあり、繰り上げ返済が増加したことによりまして資金が不足することが見込まれましたために、今回増額補正を計上するものでございます。

よろしくご審議賜りますよう、よろしく申し上げます。

○委員長（上 疆委員） これについて質疑はありませんか。

堺委員。

○委員（堺 剛委員） 教えてください。中小企業保証の補助金の私性質がよくわからないんですけれども、結局今のご説明からいくと、景気にかなり動向される部分があるのかなというふうに認識いたしますが、ここ近隣への状況としてはどういう条件になっているか、ちょっと教えていただきたくて質問しました。

○委員長（上 疆委員） 観光経済課長。

○観光推進担当部長兼観光経済課長（藤田 彰） まず、この中小企業資金融資規定でございますけれども、事業運転資金ということで、保証が弱い事業者につきましては、福岡県信用保証協

会から信用保証を受けるというものでございまして、その保証料が最初に必要になってまいります。その保証をもって各市中の銀行から融資を受けるわけですが、完済しますと、最初に払った保証料の相当分を補助するという制度でございまして、現在その資金運用の分につきましても、金利が有利なところに借りかえるということもございまして、完済される方もいらっしゃると思います。

全体的に太宰府市の傾向といたしましては、景気につきましては全国と同様、微増と、少しよくなっているという報告をいただいとるところでございまして。

以上でございまして。

○委員長（上 疆委員） いいですか。

○委員（堺 剛委員） はい。

○委員長（上 疆委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） ちょっと気になったんですが、融資を借入れをするときに保証料として払うわけですが、完済後に交付されるということですね。そしたら、やっぱり自分でまずその保証料は負担するということになりますよね、多分。

○委員長（上 疆委員） 観光経済課長。

○観光推進担当部長兼観光経済課長（藤田 彰） そのとおりでございまして。

○委員長（上 疆委員） いいですかね。

ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（上 疆委員） それでは、次に進みます。

同ページの8款1項1目土木総務費について説明をお願いします。

建設課長。

○建設課長（山口辰男） 8款土木費、1項土木管理費、1目土木総務費についてご説明申し上げます。

内容としましては、240道路施設等管理費の19節負担金補助及び交付金の県事業地元負担金として100万円の増額補正でございまして。

対象の県事業路線は、県道観世音寺二日市線でございまして、現在榎社の樹木の移設が終わり、道路拡幅工事が始まることとなっております。

この工事におきましては、福岡県美しいまちづくり条例に定められます公共施設等の景観整備事業を活用した景観整備事業計画により、景観に配慮した歩道の整備や車どめの設置、客館跡から政庁跡への朱雀大路の位置の表示などが考えられてございまして、今回の県事業地元負担金は、その景観整備に関する設計委託に係るものでございまして。

負担割合につきましては、事業費の4分の1となっております。

説明は以上でございまして。

よろしくご審議いただきますようお願いいたします。

○委員長（上 疆委員） これについて質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（上 疆委員） 次に進みます。

同ページの8款2項1目道路橋梁維持費について説明をお願いします。

建設課長。

○建設課長（山口辰男） 8款土木費、2項道路橋梁費、1目道路橋梁維持費についてご説明申し上げます。

内容としましては、240道路橋梁維持補修費の11節需用費の修繕料として500万円の増額補正でございます。

道路や側溝、水路等につきましては、市民の方や通行中の方などからの通報、道路パトロール中の発見等により陥没や舗装の剥がれ、側溝ふたや水路壁の割れなどの修繕を行っているところでございます。

本年度におきましては、当初予算に修繕料1,700万円を計上し、修繕を行ってまいりましたが、11月の末現在で既に1,665万2,000円を支出しており、今後の修繕に対応できない状況となっておりますことから、補正をお願いするものでございます。

説明は以上でございます。

よろしくご審議いただきますようお願いいたします。

○委員長（上 疆委員） これについて質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（上 疆委員） 次に進みます。

26、27ページをお開きください。

8款4項1目木造一戸建て住宅耐震改修促進事業費及び関連する補正項目について、あわせてご説明をお願いいたします。

都市計画課長。

○都市計画課長（木村昌春） 8款土木費、4項都市計画費、1目都市計画総務費、19節負担金補助及び交付金、細節070木造戸建て住宅耐震改修促進事業費でございます。補正額600万円の増額についてご説明させていただきます。

本事業につきましては、平成25年度に策定いたしました太宰府市耐震改修促進計画に基づきまして、平成26年度から実施している事業でございます。

平成28年度の当初予算におきまして、耐震改修補助額の上限でございます60万円の10件分の600万円を計上させていただいております。また、9月議会におきまして、同じく10件分の600万円の補正をさせていただいております。しかしながら、9月議会におけます本委員会におけるご質問にもお答えしておりましたとおり、やはり熊本地震の影響が大きく、問い合わせが続いている状況でございます。このことから、今回さらに10件分の増額につきまして補正をお願いするものでございます。

なお、耐震改修補助額は耐震改修工事費の50%、補助上限額60万円となっております。

関連がございますので、歳入につきましてもご説明させていただきます。

10ページ、11ページをお開きください。

14款2項4目2節防災・安全社会資本整備交付金（住宅等安全ストック10分の5）、補正額150万円でございます。

本事業につきましては、国庫補助対象事業でございます。全ての耐震改修補助額から、後ほどご説明いたします県の補助額を差し引いた額の2分の1が国庫補助対象額となります。

次に、県の補助対象額でございます。

12ページ、13ページをお願いします。

15款2項6目1節木造戸建て住宅耐震改修促進事業補助金、補正額300万円でございます。

この県の補助は、耐震改修工事費の20%が補助対象となっております。ただし、上限額が30万円でございます。

説明は以上でございます。

よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

○委員長（上 疆委員） ありがとうございます。

これらについては質疑はありませんか。

入江委員。

○委員（入江 寿委員） 26ページ、27ページの木造戸建て住宅耐震改修促進事業費なんですけれども、9月に出されてまた今回12月で出されておりますが、来年度予算ではもう増額して出していくということになるんですか、それだけ耐震の改修が多いということは。

○委員長（上 疆委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（木村昌春） 平成26年度から開始させていただいて3カ年が県が補助をしていただけの状況なんですけれども、来年度から国だけの補助になってしまいます。上限額が30万円。恐らく今年度は駆け込み需要で多いのではないかなという状況です。近隣市町村についても、同様の状況で補助の申請はだんだん少なくなっている状況でございます。ですから、来年は例年並の申請額、熊本地震以前の申請額の状況で計上させていただこうと思っております。

以上でございます。

○委員長（上 疆委員） いいですか。

○委員（入江 寿委員） よろしいです。

○委員長（上 疆委員） ほかにございませんか。

堺委員。

○委員（堺 剛委員） 済みません、ちょっと教えてください。

先ほどの推進計画の中では昭和56年6月以前の建物に対しての一戸建てについては、計画では多分恐らく最終年度では90%の目標値というのを設定されたんだろうという私は認識しておりますので、現在値と今後の方向性、傾向を教えてください。

○委員長（上 疆委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（木村昌春） 実際は、現在値というのは把握はしておりません。

○委員（堺 剛委員） ああ、そうですか。

○都市計画課長（木村昌春） 平成25年の耐震改修促進計画を策定していたときに、その当時の現在値というのは把握はしております。そのときは、平成25年1月1日現在だったんですけども、木造戸建てにつきましては55.9%です。それから、もう昭和56年5月30日以前の建物ということですので、もう40年ぐらいたっている建物がほとんどでございます。恐らく建てかえの時期ではないかなと思いますので、具体的にはまだ把握はしておりませんが、目標の90%というのは特に高い状況でございますけれども、平成35年目標なんです、それに向けて地道にやっていくしかないんじゃないかなと思っております。

以上でございます。

○委員長（上 疆委員） 堺委員。

○委員（堺 剛委員） それは、災害弱者みたいな方がいらっしゃるのをちょっと心がけていただいて、予防保全というか対策としてその視点をちょっとこの中に入れていただければというふうに思うとります。これ要望でございます。

○委員長（上 疆委員） ほかに。

橋本委員。

○委員（橋本 健委員） ちょっと具体的な質問させていただきたいんですが、今、保育所という待機待ち、これは今増額補正で今回上げられているわけですけども、希望者待ちがどれくらいあるのか、まず1点目、お願いします。

○委員長（上 疆委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（木村昌春） 今現在申請してあるのは18件でございます。今予約というか待ちをなさってあるのが9件、合計で27件。今9件待ちで27件の申し込みになっている状況になっています。ですから、あと実際には3件しか余裕がない状況ですけども、今年度いっぱいには支払いをしてしまわないといけないという条件がございます、県、国の補助のですね。ですから、2月末ぐらいまでに耐震改修の工事を終わらせていただかないといけないんで、年内の申し入れが最後かなと思っております。

以上でございます。

○委員長（上 疆委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） ありがとうございます。

これやっぱり熊本地震の影響で、今年度めちゃくちゃ増えていると思うんですが、平成26年度からこの事業が始まって、平成26年、平成27年、平成28年の実績わかりましたら件数を教えていただきたいんですが。

○委員長（上 疆委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（木村昌春） まず、平成26年度が3件、平成27年度が9件でございます。

以上でございます。

○委員長（上 疆委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 今年度は今までに27件。

○都市計画課長（木村昌春） 今27件です。

○委員（橋本 健委員） 27件ね、本年度はね。

○都市計画課長（木村昌春） そうです。

○委員（橋本 健委員） そしたら、その地域、市内での申し込み、これ口コミで広がる部分もあると思うんです。偏っていないのか、それともバランスよく、どの地域から、行政区でもいいですよ、ざっくりでいいですけども、どの辺あたりから申し込みが来ているのか、その辺は把握されていませんか。

○委員長（上 疆委員） 都市計画課長。

○都市計画課長（木村昌春） 今手元にちょっと資料がないので、明確なことは申せませんが、恐らくばらけて平均的に来ているんじゃないかなと思います。

○委員長（上 疆委員） いいですかね。

○委員（橋本 健委員） はい、わかりました。

○委員長（上 疆委員） ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（上 疆委員） 次に進みます。

30ページ、31ページをお願いします。

11款3項1目道路橋梁災害復旧費及び関連する補正項目についてあわせて説明をお願いします。

建設課長。

○建設課長（山口辰男） 11款災害復旧費、3項公共土木施設災害復旧費、1目道路橋梁災害復旧費についてご説明申し上げます。

内容としましては、災害復旧工事に係る財源の更正でございます。

災害復旧工事に係る国庫支出金が増額になりますことから、国庫支出金を81万9,000円、それに伴います市債を40万円増額し、一般財源を121万9,000円減額する財源の更正を行うものでございます。

関連がございますので、補正予算書の10ページ、11ページをお開きください。

歳入の14款国庫支出金、1項国庫負担金、4目災害復旧費国庫負担金、1節公共土木施設災害復旧費負担金の道路橋梁施設災害復旧費負担金、補助率3分の2で、81万9,000円の増額補正でございます。

続きまして、補正予算書の12ページ、13ページをお開きください。

歳入の21款市債、1項市債、8目災害復旧債、1節現年発生補助災害復旧事業債の公共土木施設災害復旧事業債で40万円の増額補正でございます。

続きまして、補正予算書の6ページをお開きください。

第4表、地方債補正でございます。

現年発生補助災害復旧事業債につきまして、160万円の限度額を200万円の限度額に変更する40万円の増額補正でございます。

説明は以上でございます。

よろしくご審議いただきますようお願いいたします。

○委員長（上 疆委員） これについて質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（上 疆委員） それでは、次の歳入の審査ですが、今回の歳入につきましては歳出補正予算に付随するものばかりで、先ほど歳出補正予算に関連して説明していただきましたので、単体で説明していただくものはありません。

それでは、補正予算書5ページをお開きください。

第2表、繰越明許費補正に入ります。

第2表の説明をお願いします。

建設課長。

○建設課長（山口辰男） 第2表、繰越明許費補正の8款土木費、2項道路橋梁費、事業名、生活道路改良事業の7,196万円につきましてご説明申し上げます。

今回繰越明許をお願いいたしますのは、銚ノ浦交差点から県道筑紫野・古賀線へつながる市道泉水1号線の道路改良工事でございます。繰り越しの理由としましては、さきに施工されました五条雨水管渠築造工事の完了が平成28年9月に変更になったことや、泉水1号線の準備の際に銚ノ浦交差点下の雨水暗渠に改修すべき箇所が見つかったため、この雨水暗渠の改修をしないと後々開削による施工となり、多額の費用や長期の片側交互通行、また通行どめの期間が発生しますため、平成28年9月補正にて銚ノ浦交差点下雨水暗渠改修工事の費用を計上させていただき、現在施工しているところでございます。このようなことにより、当初予定していました、泉水1号線の着工の時期が遅くなり、年度内の完了が困難であることから、繰越明許をお願いするものでございます。工事の完了時期につきましては、平成29年6月末を予定しております。

説明は以上でございます。

よろしくご審議いただきますようお願いいたします。

○委員長（上 疆委員） ありがとうございます。

これについて質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（上 疆委員） それでは、当委員会所管分の補正全般について質疑漏れはありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（上 疆委員） 以上で本案に対する説明、質疑は終わりました。

次に討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（上 疆委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

議案第104号の当委員会所管分について原案のとおり可決することに賛成の方は挙手を願います。

（全員挙手）

○委員長（上 疆委員） 全員挙手ですので、したがって議案第104号の当委員会所管分については原案のとおり可決すべきものと決定しました。

〈原案可決 賛成4名、反対0名 午前10時30分〉

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（上 疆委員） 以上で当委員会に審査付託されました案件の審査は全て終了いたしました。

ここでお諮りします。

本会議における委員会の審査内容と結果の報告及び閉会中の委員派遣承認要求書の提出につきましては、委員長に一任願いたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（上 疆委員） 異議なしと認め、委員会の審査内容と結果の報告、委員派遣承認要求書の提出につきましては、委員長に一任することに決定しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（上 疆委員） これをもちまして建設経済常任委員会を閉会いたします。

閉会 午前10時31分

~~~~~ ○ ~~~~~

太宰府市議会委員会条例第27条により、上記のとおり建設経済常任委員会の会議次第を書記に記録させ、その内容が正確であることを証するためここに署名します。

平成29年 2月17日

建設経済常任委員会 委員長 上 疆